


益田市の社協だより

Vol.256

2020年11月号

はあ〜てい

 この広報誌には、赤い羽根共同募金の配分金が使われています。

令和2年度 **赤い羽根共同募金**がスタートしました！



益田市社会福祉協議会

本 所 〒698-0036 益田市須子町3-1 TEL: 22-7256 FAX: 23-4177
美都支所 TEL: 52-2392 FAX: 52-2716 / 匹見支所 TEL: 56-0374 FAX: 56-0387

12月1日より 歳末たすけあい運動 が始まります

「歳末たすけあい募金運動」は、共同募金運動の一環として、福祉の援助や支援を必要とする人たちが、地域で安心して暮らすことができるように、地域住民やボランティア等の協力のもと、毎年12月1日～31日の間で実施しています。

寄せられた浄財は、地区社協や民生委員の協力のもと、寝たきりの高齢者世帯や在宅心身障がい児(者)のおられる世帯、また支援や援助を必要とされる方々へ「歳末見舞金」としてお渡ししています。

今年度も皆さまのあたたかいご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

あなたは一人じゃない。



歳末たすけあいバザー

バザーの売り上げは
全て歳末たすけあい
基金へ寄附します



期 間 11月13日(金)～12月15日(火)

場 所 益田市総合福祉センター ロビー

お願い

ご家庭で眠っている品物(未使用品)のご提供・ご協力をお願いします。また品物は益田市社会福祉協議会(本所・美都支所・匹見支所)もしくは各公民館までご持参ください。(受付期間:11/30(月)まで)

赤い羽根共同募金が始まりました

10月1日、今年はマスクをつけ、手指消毒を行うなど十分注意をした上で、街頭募金を行いました。

皆さま、ご出勤や買い物でお忙しい中、足をとめてご協力いただき、心より感謝申し上げます。

いただいた浄財は、新型コロナ禍の中での福祉活動にも役立てられています。

コロナ禍の中ではありますが、お互いに支え合う大切さを改めて大事にしたいと考えています。





豊かな暮らしを、すべてのひとに

ユタラボ



支え合いマップ
(社協)

益田市社会福祉協議会では、8月20日(木)、「豊かな暮らしを、すべてのひとに」をキャッチコピーに地域づくり・ひとづくりを進める『一般社団法人 豊かな暮らしラボラトリー(略称=ユタラボ)』に招かれ、ユタラボが取り組む「ミライツクルプログラム」の一環として、「支え合いマップづくり《体験版》」に共に取り組みました。

「支え合いマップ」とは、ご近所のつながりや助け合いの状況を把握して、普段の支え合いや、万一の災害時などにも威力を発揮する福祉ツールです。「ミライツクルプログラム」の参加者には、体験用のマップを使って、マップづくりのノウハウを学んでもらいました。

体験後、参加者からは「改めて地域のお互い様精神が必要だと実感できた」「地域のマップを自分でも作ってみたい」との声があり、地域での支え合い・助け合いの必要性を感じてもらえたようでした。



ユタラボとは

益田市の暮らしに魅力を感じた、U・Iターンの若者や大学生ら9人が中心となり、今年4月に組織を立ち上げました。小中高生や市民の語り場・居場所づくりなどを通じて市民との絆を深めています。

ユタラボについて詳しく知りたい方は  <https://www.yutalab.com/> をご覧ください

地域魅力化応援隊員



生活支援コーディネーター



益田市には魅力ある地域づくりを応援する「**地域魅力化応援隊員**」がいます。

また、益田市社会福祉協議会には地域のつながりを支援する「**生活支援コーディネーター**」が令和2年4月より5圏域に配置されています。

9月半ば、その地域魅力化応援隊員と生活支援コーディネーターが相互理解を深めるための会合を行いました。

当日は益田市を5圏域に分け、各地区の担当者同士でそれぞれの担当地区の特徴などを話し合ったり、今後どのように連携していくか等を確認しあったりしました。

今後、益田市をより魅力的にするため、暮らしやすい地域にするために、地域魅力化応援隊員と生活支援コーディネーターは力を合わせて地域のみなさんと一緒に活動していきます。地域で見かけたらぜひ気軽に声をかけてください。

生活困窮者自立支援事業 & 成年後見制度啓発講演会

どう支える!? 親の世代・子の世代

島根県の引きこもりの現状を知り、当事者の親子をこれから先どう支えていったらいいのか、基調講演やパネルディスカッションを通して皆で一緒に考えてみませんか？

開催日時 令和2年 **11月28日(土)** 13:30~15:30

会場 益田市総合福祉センター 大集会室

基調報告 島根県立心と体の相談センター
判定支援係長 **万代 真司 氏**



福祉公開講座(11・12・1月)時間割

※ 福祉公開講座の詳細については、はあ〜てい8月号もしくは社協ホームページをご確認ください

<p>11/4 (水) 13:30~15:00 遺言</p> <p>「残された人に伝える想い」 ~公証人に聞く遺言状の作り方~</p> <p>講師：浜田公証役場 公証人 瀧村 剛 氏</p>	<p>11/12 (木) 13:30~15:30 認知症</p> <p>「認知症なんかこわくない」 ~ありふれた日常の中の認知症~</p> <p>講師：認知症キャラバンメイト</p>	<p>11/20 (金) 13:30~15:30 依存症</p> <p>「やめたいのに、やめられない」 ~依存症とは何なのか~</p> <p>講師：社会医療法人正光会 松ヶ丘病院 作業療法士 山本 豊和 氏</p>	<p>11/25 (金) 13:30~15:00 ゲートキーパー</p> <p>「ゲートキーパーを知っていますか？」 ~あなたのたいせつな人を守るために~</p> <p>講師：益田市美都総合支所 地域振興課 主幹 吉田 真由美 氏</p>
<p>12/4 (金) 13:30~15:00 リサイクル</p> <p>「おこもりのススメ」 ~リサイクルで楽しむインドア生活~</p> <p>講師：益田市リサイクルプラザ 啓発棟 益田 明子 氏</p>	<p>12/11 (金) 13:30~15:30 自然災害</p> <p>「備えあれば憂いなし」 ~身近なもので備える防災セット~</p> <p>講師：NPO法人 防災支援センター 代表 桂木 正則 氏</p>	<p>12/18 (金) 13:30~15:00 地域福祉</p> <p>「益田をもっと暮らしやすく！」 ~地域の中で生きる、みんなとつながる~</p> <p>講師：益田市社会福祉協議会</p>	<p>1/15 (金) 13:30~15:00 相続</p> <p>「相続のルールが変わりました」 ~民法改正で相続の何が変わったのか~</p> <p>講師：NPO法人あしすと 代表 網本 陽輔 氏</p>

善意の輪 (令和2年8月1日~令和2年8月31日) 敬称略

ご寄附ありがとうございます。地域福祉活動事業費や、福祉基金積立の原資として、大切に活用させていただきます。

【香典返し】		【香典返し】		【香典返し】	
(故) 堀野 准一 幸町	金一封	(故) 溢田 甫 波田町	金一封	藤井 享三 匹見町広瀬	金一封
(故) 下瀬弥代子 柏原町	金一封	三浦 定男 久城町	金一封	【一般寄付福祉事業へ】	
匿名	金一封	(故) 火脚ヒサコ 美都町丸茂	金一封	両見 勝 西平原町	金一封
(故) 久保 延幸 虫追町	金一封	(故) 大石 進 匹見町道川	金一封		

そのままにしている心配ごとはありませんか？

公証人による

無料相談会

要予約

相談担当：浜田公証役場 瀧村 剛（たきむら つよし）公証人

日時

11月20日(金) 10:00~16:00※先着順となりますので
事前に電話でご予約ください

場所

益田市総合福祉センター(益田市須子町3-1)

問合わせ

TEL (0856)22-7256 FAX (0856)23-4177

老後の不安

子どもたちの相続争い

任意後見

金銭や土地・建物の貸し借りのトラブル

養育費を確実に
支払ってもらうための手段延命治療の希望や
自分の望む最期の希望など…

公証役場は国の機関です。

秘密は厳守されます。

あんしん生活支援センター

ふれあい福祉相談のご案内 11・12月

相談	開催日	時間
無料法律相談	11月13日(金)/12月11日(金)	13:00~15:00
ふれあい福祉相談	11月13日(金)/12月11日(金)	10:00~15:00
老人母子相談	11月13日・27日(金)/12月11日・25日(金)	10:00~15:00

どんなことでも、まずはご相談ください。
いっしょに考え、解決へのお手伝いをいたします。

お問合せ
ご予約

あんしん生活支援センター(益田市社会福祉協議会)

フリーダイヤル：0120-062-301 / TEL：22-7256 / FAX：23-4177 (月~金 8:30~17:30)



くろちゃんです♪
ふれあいの園のみんな
いつもありがとう！

匹見町ふれあいの園のアイドル「くろちゃん」

匹見町澄川にある高齢者生活福祉センターふれあいの園では、3年前から金魚を飼っています。水槽の中でひととき大きな黒出目金の「くろちゃん♪」は、飼い始めからいる一番の古株で、大きな目をユサユサさせながら泳ぐ姿はとても優雅で見る人を楽しませてくれています。

この日エサをやっていたのは、今年2月に101歳になられた齋藤静枝さん。人の気配を感じると一斉に齋藤さんの方へ寄って来ます。齋藤さん「ちゃんと食べてる？」、職員「ここ見てパクパクしとるよ！」、「ほんとだ、かわいいね♪」自然と笑顔になり会話も弾みます。いつも「くろちゃん♪」と水槽を叩いて呼んでくれる方もいて事務所の前は癒しの場になっています。



9月5日(土)、新型コロナウイルス感染防止のため規模を縮小した匹見の保育所・小学校・中学校の合同運動会が、小雨のなか雨天用のプログラムで開催されました。

小中学生がどうしてもやりたいと願った「綱引き」は、コロナ対策版としてソーシャルディスタンスで位置を取り、陣営交代時に手指消毒をする徹底ぶり。園児のリレーではひとりずつバトンを持ち、タッチして手渡さずにつないで走ります。客席では、つい口に出てしまいそうな「頑張れ〜!」を呑み込み、園児は手作りのガラガラをしっかりと振って応援。地域の方は手の平が痛くなるほど拍手を送ってくれました。

「最後まで一生懸命楽しもう」をスローガンに掲げたコロナ禍の運動会。匹見の子どもたち33人は、心は密に、力いっぱいのパフォーマンスを披露しました。

美都地域ケア会議で「食生活について」の勉強会を開催しました

美都地域ケア会議とは、美都地域の課題を把握し、地域づくりや政策形成に結び付けていくことを目的とする会議で、平成30年度から勉強会を開催しています。

今年度は、「食生活について」をテーマに2回に分けて開催し、7月には澄川歯科医院の澄川裕之先生をお招きして口腔機能管理の大切さを学び、8月には、益田市役所より栄養士の小玉千絵さんと福原亜紀子さんをお招きして、高齢者の栄養バランスや疾患とのつながり方について学びました。

参加者からは、「食事形態の変化や嚥下機能の低下が見られる高齢者にとって、口腔内の健康は全身の健康に直結していると思った」「健康的な生活を送るためには1日3食バランスよく食べ、量にも気を付けることの大切さを学んだ」など感想がありました。

今回学んだことを各事業所の職員間で共有し、高齢者との関わりの中で活かしていけるよう、努めていきたいです。



澄川歯科医院 澄川 裕之 先生



栄養士 小玉 千絵 さん



栄養士 福原 亜紀子 さん

発行: 社会福祉法人 益田市社会福祉協議会
編集: 益田市社会福祉協議会広報運営委員会

〒698-0036 益田市須子町3-1
TEL: 0856-22-7256 FAX: 0856-23-4177
社協e-mail: masuda_h@masuda-shakyou.or.jp

「はあーい」は英語で「心の温かい」、「真心のこもった」という意味をもつ「Hearty」の読みを日本語表記したものです。

社協ホームページ

益田市社協

検索